

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村草場		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週ごとにさまざまな活動を行っています	事業所内での活動だけではなく、coreの事業所や公園での活動も行い、新規場面に慣れるよう工夫しています。	活動内容についても、固定化しないように常に新しいことにも挑戦しながら、必要な支援に関しては継続に活動できるよう見極めながら支援していきます。
2	部屋の使い分けをしています	来所後のルーティンに取り組みやすい動線を確認し、ルーティンが習慣づけるように支援しています。また、1階と2階に部屋があるので、活動内容や気持ちの切り替えとして場所を変更しています。	常に危険箇所がないか確認を行いながら、活動しやすい環境作りができるように心がけていきます。
3	就学に向けて、着替えの練習をしています	学校入学後は、自力での着替え、着替えを畳んで袋に入れるようになることを想定し、毎利用時に着替えの練習をしています	スタッフの補助なしで着替えを終わらせられるように習慣づけていき、最終的には時間を決めて、声かけなくても時間内に畳んで袋に入れるまでをできるように支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや保護者会の開催をできていません。	児童発達支援が稼働して半年ということもあり、機会を作れていませんでした。	3月20日に西大村小学校の体育館をお借りして保護者会を行う予定になっています。また、スタッフの支援の質を高め、親子で活動できる機会を作れないか模索していきます。
2	年齢に応じた支援が十分にできていないことがありました	集団での活動ができるようにということに重きを置きすぎて、みんな同じ内容になることが多かったです。	集団活動においても、個別で行うことであれば、年齢や子どもの状況に応じて活動内容変更をしています。
3	保護者に対して、事業所の様子が分かりづらかったところがありました	事業所と保育園等の往復ということもあり、保護者と話をする機会が3～6ヶ月に1度のモニタリングや日々のサービス提供記録での報告しかできていません。	細かな気づきでも連絡を取るようにし、保護者が安心して預けられるように工夫していきます。また、事業所での取り組みが分かるように発信していく方法を模索していきます。